

# 議会だより

発行 斑鳩町議会  
 斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号  
 電話 0745-74-1001  
 FAX 0745-74-1011  
 電子メール: gikai@town.ikaruga.nara.jp  
 発行人 議会議長 中西 和夫  
 編集 広報発行常任委員会

平成29年(2017年)5月1日



▲ 斑鳩町コミュニティバス

## 3月定例会

- 平成29年度予算を審査 ..... ②ページ
- こんなことが決まりました ..... ⑥ページ
- 8人の議員が一般質問を行いました ..... ⑦ページ
- 委員会のうごき ..... ⑬ページ
- 意見書を提出しました ..... ⑱ページ

# 斑鳩の里の

# さらなる飛躍をめざして

―平成29年度予算を可決しました―



会計名	予算額	前年度からの増減額
一般会計	90億 円	3億5,000万円
特別会計	国民健康保険事業	36億8,770万円 2,760万円
	公共下水道事業	13億7,570万円 380万円
	介護保険事業 (保険事業勘定)	24億3,570万円 8,240万円
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1,180万円 50万円
	後期高齢者医療	4億1,050万円 2,910万円
水道事業会計	10億9,219万円 1,943万円	
合計	180億1,359万円	5億1,283万円

本会議から付託を受けました平成29年度斑鳩町一般会計と各特別会計等の予算を審査するため、3月8日、9日の2日間、予算審査特別委員会を開催しました。

委員会では、委員から多くの質問や意見が出されました。今回は、その主なものをご報告します。

なお、一般会計、各特別会計等の予算は、すべて満場一致で可決すべきものと決しました。

## 一般会計

コミュニティバスの携帯用時刻表作成を要望

**問** コミュニティバスの時刻表ですが、携帯できるような小さなサイズのものを作れないでしょうか。

**答** 利用促進策の一環として、今後、公共交通会議等において、ハンデタイプの時刻表や、ご自分で書き込んでいただくフォームなどを検討したいと考えています。

### 耐久性のある旗の作成を

**問** 「こども110番の家」は、何軒登録されていますか。

**答** 現在、655軒の方に協力いただいています。

**問** 旗の作成の予算が計上されていますが、何本作成する予定ですか。

**答** 500セット作成する予定です。

**問** 旗の素材が布のものとはビニールものがありますか、どちらをつくる予定ですか。

**答** 布製の旗は風雨による劣化が早いと、ビニール製の旗を作成する予定です。



▶「こともの家」の旗

**創業支援セミナーの内容は？**

**問** 創業支援セミナーと女性就業支援セミナーとはどのような内容のものですか。

**答** 創業支援セミナーは、29年度は、観光に特化したものを開催する予定です。

女性就業支援セミナーは、詳細はまだ決まっていますませんが、専門家の方から、女性が就業するに当たってのいろいろなアドバイスをいただく予定です。

創業支援については、地元商工会との連携が重要であることから、両セミナーとも斑鳩町商工会に委託する予定です。

**観光案内標識の整備計画**

**問** 観光案内標識の整備計画はどのようになっていますか。

**答** JR法隆寺駅から法隆寺までと法隆寺、法輪寺、法起寺周辺を重点区域と定め、28年度は配置計画を策定、29年度から31年度の3か年で整備していく予定です。

29年度は、三町周辺において、大きな地図2つと小さめの案内標識を整備予定です。駅周辺は、後年度に整備予定です。

**問** 観光客の玄関口である駅の案内標識を先に整備すべきではないかと思うのですが、なぜ駅周辺は後なのでしょうか。

**答** 駅周辺も、法隆寺周辺も、同様に重要です。しかし、法隆寺周辺にたくさんのお店ができて賑わっていくようにするためには、きちんと

案内標識等があった上で整備しなければならぬと考え、まずは三町周辺の整備を行うこととしました。

**子育て世帯の移住を支援**

**問** 子育て世帯移住促進事業補助金とはどのようなものですか。

**答** 町内の空き家の有効活用を図り、移住及び定住を促進するため、空き家の改修に対する補助金を新設しますが、子育て世帯にはさらに補助金を加算するものです。

内容は、改修工事の補助上限額の引き上げと、引っ越し費用の補助です。

また、三世代同居、近居となる場合には、さらに補助金を加算します。

**問** どのくらいの利用を見込んでいますか。

**答** 近隣市町村の状況を聞きますと、かなり少ないところもあり、29年度は3件を見込んでいます。

**問** 今現在はまだたく斑鳩町との接点がない人への周知はどのようにするのですか。

**答** 新たに開発した子育て支援アプリも含め、町広報紙などさまざまな方法を用いて周知していきたいと思っています。

**健康マイレージの賞品は？**

**問** 健康マイレージの応募者賞品は、どのようなものなのでしょうか。

**答** 具体的なものは決めていませんが、使い勝手のいいものにしたいたいと考えています。

**用語解説**

**健康マイレージ**

健康に関心を持ち、継続的に健康づくりに取り組めるよう、自主的な健康づくりや健診、町のイベント等へ参加した人に、景品等と交換できるポイントを付与する制度。

**環境保全負担金が増額**

**問** 現在、斑鳩町のごみは伊賀市の業者で処理しているため、伊賀市に環境保全負担金を支払っています。

家庭から出されるごみは、どんどん減量しているのに、なぜ負担金が増額しているのでしょうか。

**答** 伊賀市環境保全負担金は、ごみの搬入量1トン当たり1000円を徴収されています。

前年度より予算額が増額しているのは、町内にコンビニが増えたことにより事業系のごみが増加する傾向にあることから、搬入量が増加する見込みであるためです。

**新規就農補助積極的な広報を**

**問** 28年度において、新規就農総合支援事業補助金を申請している人はいますか。

**答** 現在、2人に補助金を給付しています。

また、新たに1人、新規就農を希望していると聞いていますので、29年度は3人分を見込んでいます。

**問** 新規就農者の募集は、町外の人も含めて、農業大学校等で農業の学習をしている人に積極的なアプローチをしているのか、町内で他の事

業をしている人に周知しているのか、どちらでしょうか。

**答** 県でも広く周知に努められており、町から農業大学校等への周知は行っていません。町内では、地域農業者の代表である農業委員を通じて広く周知していただいております、相談を受けたケースもあります。

**意見** 農業大学校で作物をつくる学習をして、自分でつくったものを直売している人もいますので、いろいろなアンテナでそういう人が情報に触れられるよう取り組んでください。



**有害鳥獣駆除 高齢化への対策は？**

**問** 有害鳥獣の駆除は、猟友

会に依頼しています。しかし、狩猟免許保持者の高齢化が進んでいるといわれています。斑鳩町の状況はどのようになっており、町としてどのように考えていますか。

**答** 斑鳩の猟友会も高齢化が進んでいると聞いています。

有害鳥獣の中には、狩猟免許が必要な鳥獣捕獲とは別に、講習を受けて捕獲ができるものもありますので、そのような駆除者を増やす対策も必要であると考えています。

**いかるが溜池 交流拠点として整備**

**問** 県営ため池等整備事業とはどのようなものですか。

**答** いかるが溜池の水辺空間等を活用し、より一層、自然と人が触れ合う交流の拠点として活用を図れるように、周遊道路の整備、親水公園の整備、照明や野鳥の巣箱、ベンチ、案内板などの設置など、地域の特性を生かした水環境の整備を県営事業として行うものです。

28年度は詳細設計を実施

され、工事は、29年から約3年間で実施されます。



▲いかるが溜池

**耐震診断・耐震改修補助の実績は？**

**問** 既存木造住宅の耐震診断、耐震改修の28年度の実績と補助の割合は？

**答** 耐震診断は、15件の募集に対し、15件の応募がありました。1件5万円の補助で、個人負担はありません。

耐震改修は、6件の募集に対し、5件の応募がありました。事業費の3分の1、上限50万円の補助です。

**私立幼稚園就園補助金 実態に合っているか**

にはなっていないと考えています。

**問** 私立幼稚園就園奨励費補助金について、国が定めている基準に達していない実態が多く、全国的にも問題になっています。特に奈良県は非常に遅れているとも聞いていますが、斑鳩町はどのような状況ですか。

**答** この補助金は、各私立幼稚園に補助金を交付し、保護者にそれが払い戻しされるという仕組みになっています。

各私立幼稚園の保育料は、幼稚園によって異なります。斑鳩町の場合、法隆寺幼稚園の保育料をベースに単価設定しています。

全国的に基準に達していないというのは、都市部の私立幼稚園は保育料が高く、国ではそれをベースにした補助金の基準額を設けているためです。

斑鳩町周辺を見る限りでは、比較的保育料は低く、国の基準を下回る保育料が設定されていますので、実態と合っていないといったこと

**電子図書館サービスとは？**

**問** 電子図書館サービスとは、図書館が保有している書籍を電子化するのでしょいか。それとも、既に電子情報になっている電子書籍を新たに導入するものなのでしょうか。

**答** 電子化されたものを購入するものです。

**問** どのくらいの蔵書数でスタートし、どのようなジャンルのものを考えているのですか。

**答** 1冊5000円とすると、200タイトル程度でのスタートを予定しています。29年度も同額を予算計上していますので、2年間で400タイトル程度になると考えています。

ジャンルについては、児童書や一般書を考えていますが、残念ながら、新刊図書や電子図書がまだ少ない状況であり、いわゆる名作と呼ばれるようなものが中心になってくると思われます。

**問** 同じ本を複数の人が見ることができるとは、どうですか。

**答** 1ライセンストつき1人という形になりますが、ライセン数は、それぞれの本によって異なります。

**問** 将来的にどのくらいの蔵書数を目指しているのですか。

**答** また、今ある紙の図書と置きかえていくのですか。

**答** 当面は、現在と同じくらいのペースで蔵書を増やしていきたいと考えています。

紙の本から電子図書に移行することは考えていますが、今後、利用状況が大きく変わるようであれば、そのときには見直していくことになろうかと考えています。



▶電子図書館サービス  
パソコン、タブレット等で  
電子図書が借りられます。

**国民健康保険事業特別会計**

**国保会計の累積赤字**

**問** 国民健康保険の被保険者数が減少し、歳入が減少する一方、保険給付は増加して、国保会計の累積赤字が膨らんでいます。次の世代に影響が出ないよう、赤字を減らしていかなければならないと考えますが、平成30年度には県が国保の財政運営の責任主体となる中、国保税を見直すタイミングが出てくるのではないのでしょうか。現在の状況はどのようになっていますか。

**答** 国保会計の運営が不安定となつてきているのは全国的な傾向であり、安定的な財政運営を行うため、財政運営の責任主体を市町村から県単位に移行する国保の県単位化が進められています。

国保が県単位化となつても、市町村が現在抱えている累積赤字はそれぞれの市町村で解消する必要があります。今後、県が標準保険料率を提示してきますので、その

数字に基づいて、当町の保険料率をどのようにするか議論していきたいと考えています。

当然、県が示す標準保険料率の設定では累積赤字は解消できないと思いますので、医療費の削減の努力や徴収率を向上し、収納を確保することも含めて検討し、見きわめた中で、30年度以降の保険料率をどうすればいいのかを29年度中に検討していきたいと考えています。

**公共下水道事業特別会計**

**今後の下水道事業**

**問** 今後の下水道事業は、今までのように、できるだけ負担が一人にかからないように事業を展開するのか、国の方針どおり、大体10年で未整備のところの整備をするのか、どちらでしょうか。

**答** 今後、更新や維持の費用がかかってくると見込まれるものの、人口減少により、下水道の使用量はあまり多くは見込めない状況になつてくると考えられます。

そうした中で、国からは、おおむね10年以内に未整備のところを整備するような計画を立てるよう言われています。

そうしたことから、少しでも早期に効率的な整備ができるよう、測量設計から工事までを一括発注する手法を取り入れ、現在、2か所の工事箇所においてその手法で整備を進めています。

新年度では、次期事業計画の見直しがあります。人口密集地や要望の高い区域など費用対効果が見込まれるところを中心に、国の交付金等を最大限に活用しながら、今後事業を進めていきたいと思ひます。

そのようなリーダーを町で育成していくのですか。

**問** 介護予防リーダーとはどのようなものですか。

**答** 地域などで、運動などの介護予防活動を主に行っているリーダーです。

**問** そのようなリーダーを町で育成していくのですか。

**答** 専門職の講師等を招いて研修を行い、町で育成していきます。

**問** 何か資格が必要なのですか。

**答** 特別な資格は必要ありません。

**介護保険事業特別会計**

**地域での介護予防活動リーダーを育成**

**予算審査特別委員会**

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 坂口 徹  |
| 副委員長 | 小村 尚己 |
| 委員   | 小林 誠  |
| 〃    | 伴 吉晴  |
| 〃    | 平川 理恵 |
| 〃    | 濱 眞理子 |
| 〃    | 奥村 容子 |



# 3月定例会では こんなことが 決まりました

平成29年第1回定例会が、3月1日から24日までの24日間の会期で開かれ、斑鳩町地域福祉計画推進協議会設置条例についてなど18議案を可決・認定、人事案件11件について答申・同意し、報告案件2件について報告を受けました。また、1件の陳情を審議しました。

最終日には、議会関係の条例・規程2件と意見書4件を発議しました。

それぞれの結果は、下記のとおりです。

	案 件	結 果	
条例	斑鳩町地域福祉計画推進協議会設置条例について	満場一致で可決	
	斑鳩町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について		
	斑鳩町個人情報保護条例の一部を改正する条例について		
	斑鳩町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について		
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		
	斑鳩町町税条例等の一部を改正する条例について		
	斑鳩町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について		
予算	平成28年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について	満場一致で可決	修正動議が提出され、修正案に賛成する意見と原案に賛成する意見の討論が行われました。16ページに賛否の討論
	平成28年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)について		
	平成28年度斑鳩町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について		
	平成28年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	賛成多数で可決	
	平成29年度斑鳩町一般会計予算について	満場一致で可決	
	平成29年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計予算について		
	平成29年度斑鳩町介護保険事業特別会計予算について		
	平成29年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計予算について		
	平成29年度斑鳩町水道事業会計予算について		
人事	人権擁護委員の推薦について意見を求めることについて(その1)~(その3)	満場一致で適任と答申	北山裕見子氏、中井充啓氏、森田敬子氏を推薦することについて、適任であると答申
	斑鳩町監査委員の選任について同意を求めることについて	満場一致で同意	
	斑鳩町政治倫理審査会委員の選任について同意を求めることについて(その1)~(その7)	満場一致で同意	
認定	町道認定について	満場一致で認定	佐伯知輝氏を選任することに同意
陳情	介護保険制度の見直しに対する陳情書について	みなし不採択	
報告	監査結果報告について	報 告	郡山尚氏、中西達也氏、浅野浩子氏、小野英子氏、吉田尚子氏、泉武男氏、吉田建四郎氏を選任することに同意
	平成29年度斑鳩町文化振興財団事業計画の報告について		
発議	議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致で可決	16・17ページに賛否の討論
	斑鳩町議会事務局処務規定の一部を改正する規程について	賛成少数で否決	
	「介護保険制度の見直し」を求める意見書について		
	際限のない年金削減をストップし、若者も高齢者も安心できる年金制度への改善を求める意見書について		
	「テロ等準備罪」(共謀罪)の立法を行わないことを求める意見書について		
	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書について	満場一致で可決	18ページ(裏表紙)に意見書

## 議会の議案書を閲覧できます

議会に上程された議案書は、役場3階の議会事務局で閲覧することができます。それぞれの議案について、詳しく知りたい場合は、役場3階の議会事務局までお越しください。

議会事務局( ☎74-1001 内線302)

# 一般質問 Q &A

本定例会での一般質問は、3月6日・7日の両日、8人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

2日間で、延べ12人の方が傍聴に来られました。

## 町職員の長時間・過密労働の改善を



木澤正男 議員

**議員** 近年、民間企業でも公務職場でも長時間・過密労働がはびこっており、従業員や職員が心身に異常をきたしたり過労死につながるケースが増えてきています。違法な労働をなくし、長時間・過密労働の改善を求める立場で、町職員の労働実態についてお尋ねします。

**総務部長** 平成28年度の残業時間は職員1人当たり一か月平均15時間です。また、最も多く残業した職員は、1月に一か月133時間となっています。また、最も残業が多い職員の平均時間は一か月87.8時間となっています。

**議員** 労働基準法第36条では、残業をさせるためには、労働組合等と書面による協定をかわし、行政官庁に届け出をしなければならぬとされています。

いますが、町の現状はどうなっているのでしょうか。

**総務部長** 通常の公務員については、労働基準法第36条の規定は適用の範囲外となっています。しかし、民間にとつてかわることができるような職種については、適用範囲内となっており、町としては昨年から職員労働組合と協議を進め、まずは、たつた・あわ保育園の2事業所と2月1日付で協定を締結しました。また、それ以外の事業所とも3月末の協定の締結に向け労働組合と話し合いを進めており、おおむね合意を得ているところであります。

**議員** 協定の対象とならない職員についても残業時間を削減していけるよう改善計画を立てるべきだと考えますが、いかがでしょうか。

**副町長** 長時間労働を減らすという基本的な考え方を持って定員管理計画を作成し、適正な人材配置とともに、人数を増やしていく努力を今後も続けていきたいと思っています。



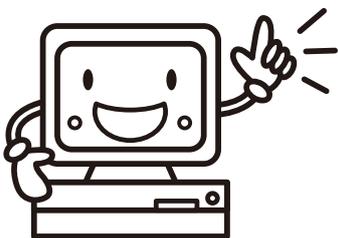
### その他の質問

※プロポーザル方式について、実施基準を作り運用するべきではないか。

※就学援助金について、入学準備金の単価の引き上げ支給方法を見直すことについて。

議会だよりと会議録(本会議、委員会)が斑鳩町ホームページで閲覧できます。

斑鳩町ホームページ (<http://www.town.ikaruga.nara.jp>)で、斑鳩町議会をクリックしてください。No.52(平成19年5月1日発行)以降の議会だよりと平成23年5月以降の会議録が閲覧できます。



# 声をあげられず 苦しんでいる子どもへ



小林 誠 議員

か。エビデンスを基にした政策立案が必要ではないでしょうか。

子どもの貧困に関する調査をされるのかお尋ねします。

**健康福祉部長** 来年度、地域福祉計画の策定のための調査の中で、子どもの貧困に関する内容も取り入れることについて検討していきます。

**議員** ある世帯が貧困であるか否かを特定するのは、容易なことではありません。これまでの斑鳩町の取り組みについては評価をしています。しかし、実態が分かっていないのに納得しているのかと疑問が残ります。斑鳩町ならではの解決策があるはずで、子どもたちが将来に希望を持てる社会を作るのが大人の責務です。経験と勘と思ひ込みに陥らずに「声を上げられず苦しんでいる子ども」すべてに支援をお願いします。

## 乳児用液体ミルク

**議員** 液体ミルクは、人工乳が液状で、長期保存でき、授乳時に調乳の手間を省くことができるので、粉ミルクに比べ、

授乳者の負担軽減や安全面でのメリットが大きいことから、子育て支援講座等で啓発してはどうでしょうか。

**健康福祉部長** 価格が高いことや国が制度整備に乗り出したことから動向を注視していきます。

**議員** 災害時における活用・備蓄についての考えは。

**総務部長** コスト面と、粉ミルクの保存期間2年と比べると短いので災害備蓄としては適していないと考えます。

**議員** 備蓄するだけならもつたいない。しかし、災害時に乳児を伴って来日する外国人の利便性、女性の育児や家事の負担軽減、または男性の家事・育児等への参画の推進などと同時に活用するならもつたいなくないのでは。



## 議会の日程

### 臨時議会の予定

5月8日(月)

### 閉会中の委員会

事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

5月16日(火)建設水道常任委員会

17日(水)厚生常任委員会

18日(木)総務常任委員会

24日(水)議会運営委員会

### 6月議会の予定

6月2日(金)本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

7日(水)一般質問

8日(木)一般質問

9日(金)建設水道常任委員会

13日(火)厚生常任委員会

14日(水)総務常任委員会

16日(金)議会運営委員会

21日(水)本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。  
すべて傍聴できます。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎74・1001 内線302

# 防犯カメラの設置について



中川 靖広 議員

**議員** 平成28年3月議会で通学路に防犯カメラを設置していただきたいという質問をしました。

平成29年度では、どのような計画をされているのか、お尋ねをいたします。

**総務部長** 昨年の3月議会一般質問におきまして、質問者から小学校等の通学路への防犯カメラの設置についてご要望をいただいたところですが、平成29年度におきまして、小学校の通学路を主といたしまして、10か所で防犯カメラの設置を計画しているところです。

具体的な防犯カメラの設置場所につきましては、犯罪抑止の効果が高いと考えられる場所につきまして、PTAの方々と各小学校、教育委員会

とも相談しながら、また西和警察署からもアドバイスをいただきながら、現在、協議を行っているところです。

ただ、防犯カメラの設置には付近住民のご理解やプライバシーの問題などもありますので、慎重に取り組んでいく必要もあるかというふうに思っています。

**議員** 通学路全体に防犯カメラを設置しておられる自治体もあります。

当町におきましてもなるべく早い年度で通学路全体に防犯カメラの設置をしていただきたいと考えますので、平成30年度以降についてはどのような計画を持っておられるのかお聞かせいただきたいと思

います。  
**総務部長** 平成30年度以降の

防犯カメラの設置につきましても、先ほどの答弁でもありましたが、PTA、小学校あるいは教育委員会と相談し、また、警察のアドバイスもいただきながら、犯罪の抑止効果が高いと考えられる場所におきまして、引き続き検討を進めてまいりたいと考えています。

**議員** ぜひとも小学校等の通学路全体に防犯カメラの設置をしていただきますように強く要望しておきたいと思



## その他の質問

※子育て支援について

# 病児保育について



平川 理恵 議員

らの要望ですか。西和地域での合意形成はどのようなになっていますか。

**町長** 元の三室病院が広域7町で土地を確保したという経緯もあり、西和7町の会長の安堵町長、病院の地元の三郷町長も動いています。7町が一致団結しないとうまくいかないと思っています。

**議員** 実施主体は市町村または一部事務組合ということになりますか、どのように考えておられますか。

**町長** 斑鳩町が主体になるというよりも、広域7町が連携を密にしながら取り組んでいきます。

**議員** 西和医療センターでの病児保育の実施について、県にどのような要望をして頂いているのでしょうか。

**健康福祉部長** 平成29年度県予算に関する要望事項として、奈良県町村会、奈良県町村議会議長会を通じて、広域的な医療機関等による実施へ向けて支援するとともに、奈良県立病院機構にも働きかけて頂きたいと要望しています。

**議員** 町単独、西和7町、ど



## 学童保育について

**議員** 新年度に向けた学童保育の申し込み及び指導員の確保の状況についてお聞かせください。

教育長 総合計で368人の

申し込みがありました。斑鳩学童は定員179人に対し183人、斑鳩西学童は定員68人に対し60人、斑鳩東学童は定員139人に対し125人の申し込みがありました。斑鳩学童は基準を超える申し込みがありました。出席率の関係もあり、全員の利用認定を行い、2月20日付けで保護者に通知をしました。指導員については、必要な人数の25人は確保できていますが、働き方の関係でそれ以上の人数を確保するため、追加の募集を行っています。6時半以降の延長については、54人の申し込みがありました。

その他の質問

※民泊の方向性及び宿泊施設の確保について

行政業務の民間委託について



伴 吉晴 議員

議員 当町では、行政経営の効率化や民間活力のよい部分を活用できることから、さまざまな業務が民間等に委託されています。

例えば、学校等の給食調理・洗浄業務の委託や庁舎等の施設での清掃業務を始めとする施設管理業務の委託、そしていかるがホールなどの指定管理委託、その他には各種行政計画策定におけるコンサルタントへの委託など、多種多様になっていますが、現在の状況と今後の方針についてお伺いします。

総務部長 公共サービスに対する住民ニーズは多様化・高度化しており、公共サービスの分野に競争環境を導入することにより、より効率的・効果的に公共サービスを提供す

ることができるとを念頭に置き、最大の成果を住民の皆さんに還元することが大切と考えています。

今後は、民間事業者の積極的な参入意欲を引き出すことや、民間委託による官民コストの比較を行うなど、民間委託をする際の手法を検討する必要がありますと考えています。

議員 委託の中でも、各種行政計画を委託発注する時、どのような基準で、指名競争入札やプロポーザル方式、または随意契約などを採用しているのかをお伺いします。

総務部長 行政計画については、さまざまな分野にわたっていることから、その計画の性質または目的に応じて、契約相手の決定方法を変えており、一般的な技術力が要求さ

れる場合は競争入札を行っており、調査分析業務や行政戦略策定業務など、専門的な技術力が要求される場合は、プロポーザル方式を採用しています。

また、業務の適切な履行が確保される場合には、過去に受注した業者と随意契約を締結する場合があります。

議員 行政委託において、これからは、委託内容の範囲や内容が最も効果的に行われているかを注視しながら、そして、一番注意しなければいけない委託先の選定において、競争性・透明性を確保していただくことを強く要望します。



コミュニティバスの運行について



濱 眞理子 議員

議員 住民の皆さんからのご意見もふくめての、現在の状況はいかがですか。

総務部長 10月からの実証運行の中でうかがったご意見もあり、また、乗車された車内でのアンケートを実施しています。本実施に向けて便利で皆さんの期待に答え得る運行に、変えるべきところは変えていく、実行していくところは実行していくということ

で、頑張っていきたいと思  
います。

**議員** 2月末に改良されたス  
テップについて詳細をお聞き  
します。

**総務部長** 一番多かつた段差  
が高いとのご意見に依えて、  
車体の下から出し入れできる  
ステップ（停車位置に対応し  
て運転者が作動操作可）と車  
内の1段目2段目間に固定し  
たステップを取り付けました。

**議員** 同様のステップは以前  
から製品化されていました。  
実証運行車の導入時にこの点  
の検討がなされておらず、結  
果的に5か月間は不便な状況  
でした。町の姿勢に疑問を持  
ちます。

乗り継ぎや往復等で料金が  
その都度必要であることが負  
担で以前より利用を控えてい  
る方が多くおいでです。この  
ことへの町の認識はいかがで  
すか。

**総務部長** 無料時の調査と比  
較して、乗車目的地の上位の  
「いきいきの里・東と西憩の  
家」の利用者が一定程度減少  
しています。

**議員** 回数券や割引のカード  
だけではなく、同日なら複数

回乗車できる1日券の導入を  
考えてはどうかですか。外出支  
援の効果だけでなく、観光の  
方の利用もできます。

**総務部長** 1日の周遊券・定  
期券等は地域公共交通会議で  
検討します。

**議員** 近大病院通院時の近鉄  
電車利用のためなど近隣町と  
の連携はできますか

**総務部長** 平群町と竜田ネオ  
ポリスでバス停を隣接してい  
ます。発着時間の調整等は確  
立していません。



▶ コミュニティバス

その他の質問

※幼児の視力検診について

※子ども医療費無料を高校卒  
業までに

新生児聴覚検査の  
実施について



奥村容子 議員

**議員** 新生児の聴覚障害を早  
期に発見し、適切な支援へと  
つなげるために、新生児聴覚  
検査は重要と思いますが、町  
の認識と状況把握・啓発等へ  
の取り組みについて伺いま  
す。

**健康福祉部長** 聴覚障害は早  
期に発見し適切な支援を行う  
ことで、言語の発達が促進さ  
れることから、新生児聴覚検  
査を実施することは大切であ  
ると認識しています。

斑鳩町では、平成28年1月  
生まれの新生児から検査の受  
診状況の把握に努めていま  
す。今後、聴覚障害の早期発見  
を図るため、母子健康手帳の  
交付時や両親学級、育児相談  
等の機会を活用し、妊娠期か  
ら新生児聴覚検査の必要性に  
ついて啓発を行います。また、

検査結果が再検査になった場  
合には、早期療育へつなげら  
れるよう、関係機関と連携を  
図りながら支援してまいりた  
いと考えています。

無料公衆無線LAN(Wi-Fi  
i)環境の整備促進について

**議員** 2020年にオリン  
ピック・パラリンピックが開  
催され、斑鳩町にも多数の外  
国人が訪れると見込まれま  
す。外国人が一番困ったこと  
に、無料公衆無線LAN環境  
未整備が挙げられています。  
観光と防災の観点から、斑鳩  
町内のWi-Fi設置状況と  
今後の整備計画について伺い  
ます。

**総務部長** 近年、訪日外国人  
が増加し、Wi-Fi環境の整

備が求められています。当町  
では、法隆寺駅・斑鳩の里観  
光案内所の2か所で平成28年  
1月16日より供用開始してい  
ます。平成31年度までにあと  
1か所を整備し、Wi-Fi環  
境を拡充してまいります。防  
災の観点からは、現在、町内の  
避難所には、無料公衆無線L  
ANの整備を行っているところ  
はありますが、災害時に  
電話回線が利用できない場合  
でも、インターネットにアク  
セスしやすく、災害時の情報  
収集に適していると認識して  
います。今後、町内の避難所へ  
の無料公衆無線LANの整備  
について検討してまいりたい  
と考えています。



▶ iセンターの  
無料Wi-Fi標識

# 小学校の英語教育について



小村 尚己 議員

**議員** 2021年より英語教育が小学校3・4年生でも「外国語活動」が義務化され、また小学校5・6年生では教科化されます。小学校の先生方の間では、負担が増える、英語を教えることについての不安なども上がっています。斑鳩町の英語教育についての現在の準備状況をお伺いします。

**教育長** 現時点では、文部科学省及び県教育委員会において、具体的な対応策は示されていませんが、当町では、去る2月28日に校長会を開催し、平成32年度からの本格実施あるいはそれまでの先行実施に向けて、現体制でできる取り組みを今後検討していくこととしています。

また、本町においては早い段階で外国人英語指導助手を小

学校に派遣しています。今後も引き続きそういった取り組みを継続していきたいと思っています。

**議員** 上から方針等しか降りてきていない状況で準備をしていただいていることに安心をしました。また、平成30年からの移行期間ですが、県の方針もあるかと思いますが、早期に実施していただきたいと思っています。文部科学省の議論を見ていると、リスニングとスピーキングを重視するという内容で議論されています。大学入試センター試験もリスニングテストの配点が高くなり、スピーキングテストを導入する方向性で話が進んでいます。スピーキングテストを導入する場合、現行のセンター試験では対応できないため外部委託に

なります。その際に英検が注目されるのではないかとということまで教育業界では言われています。

この点、中学校段階でも英検3級合格や4級合格など教育の数値化の議論が出てようと思います。

また、観光との接点では、私たちは法隆寺のある町に住んでいます。斑鳩町だからこそできる取り組みとして、現在、中学生で行われている英語での外国人観光客の案内により力を入れていただくようお願いいたします。



## その他の質問

※ICT教育の現状と今後の方向性について

## 議会は役場3階です

### 議会を傍聴してみませんか！

斑鳩町議会では、「開かれた議会」をめざしています。みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。

また、本会議の会議録は庁舎ロビーや公民館、斑鳩町立図書館でも閲覧できます。

**みなさんのご意見やご要望をお寄せください。**

(宛 先) 〒636-0198 斑鳩町法隆寺西3-7-12

斑鳩町議会事務局

TEL 74-1001 FAX 74-1011

役場3階・議会事務局前に、ご意見箱「こだま」を設置しています。



▲議場



◀議場内の傍聴席(39席)

# 建

## 設水道常任委員会

3月14日、全委員出席のもと委員会を開催し、本会議より付託を受けました議案及び継続審査案件等の審査を行いましたので、その主な内容と結果について報告します。

### 委員会付託議案

#### ◎議案第10号 平成28年度斑鳩町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

今回の補正は、歳入歳出予算の総額に105万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ14億931万円とするものです。

補正の内容は、人事異動による人件費の補正と奈良県流域下水道事業の予算補正及び繰越明許が行われることに伴う市町村負担金の補正です。委員より、流域下水道への負担金について質疑がありました。

(結果) 満場一致で可決

#### ◎認定第1号 町道認定について

都市計画法第29条の開發道路10路線と建築基準法第42条の位置指定道路3路線の合計13路線について、道路法に基づき当該路線の認定をするものです。

委員より、町道認定の考え方について質疑がありました。

(結果) 満場一致で認定

### 継続審査案件

#### ○都市計画道路の整備促進に関することについて

いかるがパークウェイ三室・紅葉ヶ丘区間の道路詳細の取りまとめが一定なされましたので、その概要について、平面図とイメージ図を用いて説明がありました。

委員より、高架の状況について、側道の通り抜けについて、法隆寺線の供用開始時期について質疑がありました。

#### ○JR法隆寺駅周辺整備事業に関することについて

今回、報告はありませんでした。

### 各課報告事項

#### ○平成28年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について

当委員会の所管に係る内容について、説明がありました。

委員より、まちなか景観事業について、電柱の無電柱化について質疑がありました。

#### ○公共下水道事業について

平成28年度の下水道工事進捗状況について、平成28年度発注の15路線のうち、12路線は計画通り完了しており、残る3路線は、3か年継続事業の9工区―1の龍田西4丁目地内と17工区―1の法隆寺東1丁目地内、また、平成29年度に事業を繰り越す6工区―4の稲葉西1丁目地内の整備工事は現在準備工を進めているところ です。

公共下水道の接続申請状況は、平成28年度に入り、34

3件の申請を受け付け、申請総数は3675件、接続率は73.9%となっています。

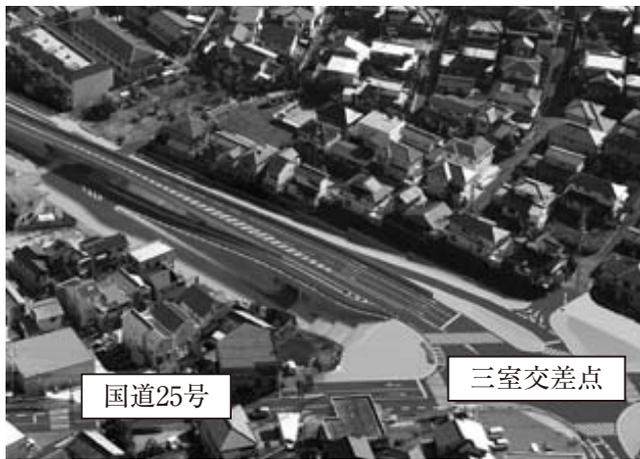
融資あっせん利用数は、平成28年度3件の申請を受け付け、総数は49件となっています。また、浄化槽雨水貯留槽への転用は、平成28年度4件の申請を受け付け、総数は47件となっています。

平成29年度、新たに整備に着手する区域として、龍田西2丁目・5丁目地内、稲葉西1丁目地内、神南5丁目地内、神南4丁目地内、龍田南4丁目・5丁目地内、龍田3丁目・4丁目地内、服部2丁目地内、法隆寺南2丁目地内、法隆寺2丁目地内、五丁北の周辺を予定しており、約10ヘクタール、管渠延長3200メートルの整備を予定しています。

### その他

いかるがパークウェイ岩瀬橋東詰の道路状況について

(坂口委員長記)



▲いかるがパークウェイ 三室・紅葉ヶ丘区間イメージ図

3月15日に、全委員出席のもと委員会を開催し、本会議から付託を受けた5議案と陳情1件、継続審査案件等を審査しましたので、その主な内容と結果についてお知らせします。

## 厚生常任委員会

### 委員会付託議案

◎議案第1号 斑鳩町地域福祉計画推進協議会設置条例について

◎議案第5号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

社会福祉法第107条に規定する地域福祉計画の策定及び推進にあたり有職者及び関係団体からの意見の聴取を行うため、推進協議会を組織し、協議会を運営するための必要な事項を定めるため、本条例を制定するものである。

(結果) 議案第1号 満場一致で可決。議案第5号 満場一致で可決。

◎議案第7号 斑鳩町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について

地域包括支援センター等に置かれる主任介護支援専門員について、更新制が導入され、更新時における新たな研修が創設されたことに伴い、所要

の改正を行うものである。  
(結果) 満場一致で可決

◎議案第9号 平成28年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)について

保険基盤安定負担金について交付決定されたことによるものと、共同事業拠出金の確定による補正を行うものである。

(結果) 満場一致で可決

◎議案第11号 平成28年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について

保険料収入の増加が見込まれることと、保険基盤安定負担金の交付が決定されたこと等による補正を行うものである。

(結果) 満場一致で可決

◎陳情第1号 介護保険制度の見直しに対する陳情書について

介護保険サービスの削減や利用料の引き上げを実施しないこと、家族介護の負担軽減のための制度改善と施設整備、介護従事者の処遇改善と

確保対策の強化、政府の責任での必要な財政処置を求める意見書を提出することを求めるものである。  
(結果) 賛成少数で不採択

### 継続審査案件

◎環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

斑鳩町ゼロ・ウェイスト宣言(案)が説明、報告されました。

### 各課報告事項

◎議案第8号 平成28年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について

委員会所管に係る事案について、説明、報告されました。

◎国民健康保険税の低所得者に対する保険税軽減の拡大について

◎市町村国保の県単位化に関する取り組みについて

◎子育て世代包括支援センターの整備について

◎斑鳩町健康寿命延伸計画について

◎第2期斑鳩町食育推進計画について

◎斑鳩町立保育園園歌について





## 総務常任委員会

3月16日、全委員出席のもと委員会を開催し、本会議からの付託案件5議案と所管事務の報告事項を慎重に審議、審査しましたので、その主な内容を報告します。

なお、審査結果につきましては、すべて満場一致で可決すべきものと決しました。

### 委員会付託議案

◎議案第2号 斑鳩町個人情報  
の利用及び特定個人情報  
の提供に関する条例の一部を改  
正する条例について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法が改正されたため、本条文の整理を行うものであるとのことです。

◎議案第3号 斑鳩町個人情報  
保護条例の一部を改正する  
条例について

いわゆる番号法の改正によ

り、条文の整理とその他文言の整理を行うものであるとのことです。

◎議案第4号 斑鳩町職員の  
勤務時間、休暇等に関する条  
例の一部を改正する条例につ  
いて

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律が改正されたことに伴い、この改正内容に準じて所要の改正を行うものであるとのことです。

◎議案第6号 斑鳩町町税条  
例等の一部を改正する条例に  
ついて

消費税率引き上げ時期の延期に伴う税制上の措置等の見直しに関するもの等について、所要の改正を行うものであるとのことです。

◎議案第8号 平成28年度斑鳩町一般会計補正予算（第5号）について

歳入歳出それぞれに549万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ90億9310万7千円とするもので、歳入歳出それぞれについて説明がなされました。

委員より、ふるさと納税の取り組みについて、まちなか観光景観形成事業補助金の国庫補助の減額について、法隆寺門前周辺地域無電柱化整備について、学校照明設備LED化について等の質疑がいたされました。

### 継続審査案件

◎斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについて

春季特別展の開催は、5月27日から7月2日までを会期と

し、「斑鳩古塔展―聖徳太子ゆかりの古代寺院の仏塔―」と題して開催する。

故樋口隆康氏のご遺族から歴史関係の図書の寄贈を多数受けため、(仮称)樋口コレクションとして整備に取り組んできたが、このほど作業が終わったので、来る4月2日から、町立図書館聖徳太子歴史資料室において展示していくとのことである。



▶整備された「樋口文庫」

### 各課報告事項

◎斑鳩町の財務書類（平成27年度決算）について

国において、統的な基準による財務書類を作成し、活用するよう要請されたため、今回、平成27年度決算ベースで、一般会

計のみを作成したとのことで、主な変更点及び財務書類の内容についての説明がなされました。

◎いかるがホールの休館について

平成30年度に大ホール、小ホールの空調設備更新工事の実施のため、大ホール、小ホールだけ、休館予定であるとのことです。

### その他

委員より、コミュニティバスアンケートに関する事、集会所の整備費補助金の解体費に一定の基準を設けるべきではないかの意見。また、次年度の学童保育の説明会の日が私立保育園の卒園式の日と重なり、保護者が説明会に参加できなくなったことについて、延長保育の情報案内の私立保育園への対応について、町ホームページのカレンダーの利用方法について等の質疑、意見がいたされ、理事者より、それぞれに一定の答弁がなされました。

(嶋田委員長記)

# 本 会 議 で の 討 論

議案に対して賛否が分かれた場合、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。

3月定例会では、4件の討論が行われました。

## 平成29年度斑鳩町一般会計予算について

平成29年度一般会計予算については修正動議が提出され、修正案に対する賛成意見と原案に対する賛成意見の討論がありました。

### 【原案反対・修正案賛成の意見】 木 澤 議 員

平成29年度予算では、学童保育の運営時間延長や幼稚園給食の充実など、評価できるものもありますが、改善されていない問題もあり、予算の修正案を提出し、改善が必要な部分について具体的に提案をさせていただきます。

主な問題点として、①小学校1、2年生を除き、30人学級から35人学級編制に後退し、以前よりも教員の数が減ってしまっていること。②シルバー人材センターへの発注単価が最低賃金を下回っており、地域の賃金水準引き下げにつながること。③町制70周年記念事業をはじめとしたイベントが多すぎること。④コンビニ交付サービスは個人情報保護の観点から安全性に問題があること。⑤プレミアム付き商品券は、大型店85%、小売り業15%と地域経済への波及効果が低いことなどの問題点を指摘し、改善を求め反対します。

### 【原案賛成・修正案反対の意見】 井 上 議 員

平成29年度予算では、学童保育の延長保育の実施、子育て世代包括支援センターの設置など、子育て支援のまちづくりに重点的に取り組まれています。

また、通学路を中心とした防犯カメラの設置や災害情報伝達システムの導入など安全・安心のまちづくりや、創業支援補助制度の創設やまちあるき拠点誘致のための用地購入など活力とにぎわいのあるまちづくりにも積極的に取り組まれています。

なお、修正案で述べられた30人学級の編制ですが、小学校1・2年を30人学級、小学校3年から中学校3年までを35人学級とする現行の編制は国の基準を上回るものであり、町単独事業として、全国的にみても充実した内容であると考えます。

以上のことから、本町の行政課題に対して意欲的に取り組むための予算を編成されたものと考え、本議案の原案に賛成します。

## 「介護保険制度の見直し」を求める意見書について

### 【反 対 意 見】 平 川 議 員

介護保険の費用総額は制度創設時から約3倍の約3兆円になるとともに、介護保険料の全国平均は、現在、5,000円を超え、2025年度には8,000円を超えることが見込まれています。2025年には、いわゆる団塊世代すべてが75歳以上になるほか、2040年にはいわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上になるなど、人口の高齢化は、今後、さらに進展していきます。

こうした状況の中で、介護保険制度の理念を堅持し、必要なサービスを提供していくと同時に、給付と負担のバランスを図りつつ、保険料、公費及び利用者負担の適切な組み合わせにより、制度の持続可能性を高めることが重要な課題となっています。今後、国民に信頼される持続可能な介護保険制度となるよう、円滑な制度の実施を期待し、私の反対意見とさせていただきます。

### 【賛 成 意 見】 木 澤 議 員

2015年に実施された改定では、要支援1、2の訪問介護、通所介護が介護保険から外されました。また、政府は今後、さらに要介護1、2の方までも介護保険制度から外そうとしています。要支援1、2と要介護1、2の方をあわせると、介護認定された方全体の65%を超えます。保険料は払わされるのにサービスは受けられないという制度改悪に対し、「国家的詐欺」と厳しい批判が広がっています。

政府はお金がないと言いますが、安倍内閣のもとで、新年度国家予算のうち、防衛費が過去最高の5兆1,251億円に達しました。その中身はオスプレイやステルス戦闘機の導入など、本当に必要なものなのでしょうか。予算の使い方を福祉充実に改めるよう、政府の姿勢をただすことが必要だと考え、この意見書に賛成します。

## 際限のない年金削減をストップし、若者も高齢者も安心できる年金制度への改善を求める意見書について

### 【反対意見】 奥村議員

このたびの公的年金制度の持続可能性の向上を図るための国民年金法等の一部を改正する法律では、年金制度を将来にわたって維持できるように、現在の高齢世代に配慮しつつ、将来世代の給付水準の低下を抑え、現実に即した年金を実現できるよう、マクロ経済スライドを適切に実現できるよう改正が行われました。

少子高齢化が進み、労働力人口の減少が見込まれる中で、年金制度の更なる持続性と安定化が求められ、将来世代の年金水準を確保し、世代間の公平性を図るために、国において十分に考えられた制度であると考えていることから、意見書の内容には反対するものです。

### 【賛成意見】 木澤議員

政府は昨年末の臨時国会で「年金制度改革関連法」の強行採決を行いました。賃金の下げ幅に合わせて年金額も削減する今回の改定は、購買力維持のため物価にあわせて年金も改定するとの従来の説明を投げ捨てる国民への背信行為です。また、年金抑制の「マクロ経済スライド」の未実施部分を翌年以降に持ち越す「キャリーオーバー」制度の導入で、消費税が10%に増税されたときに年金が上がらないどころか下がるという最悪の事態が起きると指摘されています。

年金受給者の生活は、増税、物価上昇、医療・介護の負担増のもとで、食生活まで切り詰めざるを得ないところまで追いつめられており、「なんとかしてほしい」との切実な声が寄せられています。年金制度改革関連法を廃止し、年金削減をストップさせるため、この意見書は採択すべきだと考え賛成します。

## 「テロ等準備罪」(共謀罪)の立法を行わないことを求める意見書について

### 【反対意見】 小村議員

3月21日に閣議決定された組織犯罪処罰法の改正については、テロを含む組織犯罪について、実行着手前の段階での検挙・処罰が可能となり、重大な結果の発生を未然に防止することができるようになります。2020年東京オリンピック・パラリンピックを控えていることからテロなどの重大な犯罪の脅威は高まることが安易に予想されます。

また、政府におけるテロ等準備罪の考え方は、犯罪の主体を一定の重要な犯罪を犯すことを目的とする集団である、テロ組織、暴力団、麻薬密売組織などの組織犯罪集団に限定されています。具体的な計画が存在することに加え、資金調達、武器購入、犯行現場の下見など重大犯罪を実行するための「準備行為」も要件とされています。

以上のことから、本意見書の提出に対して反対します。

### 【賛成意見】 木澤議員

政府が示す「テロ等準備罪」法案は、2020年の東京五輪・パラリンピックなどに向けたテロ対策強化を法整備の目的に掲げてきました。しかし、法案第1条の「目的」の中にはテロの文言は入っておらず、政府の説明と法案との矛盾を追及する声が広がるなか、慌てて「テロリズム集団その他の組織犯罪集団」という文言を入れました。これまでの「共謀罪」では国会を通らないのでテロ対策だという口実をつけ、国民をだまして法案を通そうとしていることは明らかです。

共謀罪の本質は、国民の内心を処罰するものであり、国民の思想や内心の自由を「侵してはならない」と定めている憲法19条に反する違憲立法です。

政府の説明は矛盾だらけであり、国民の懸念がぬぐえないまま拙速な法制定を行うべきではないと考え、意見書に賛成します。

# 政府関係機関に 意見書を送付

3月定例会では、議員から提案された意見書が可決され、政府関係機関に送付しました。

## 無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、通信環境の整備、とりわけ無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備は喫緊の課題となっています。

2014年度に観光庁が行った「平成26年度訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関する現状調査結果」によると、旅行中最も困ったこととして、無料公衆無線LAN環境が30.2%と最も高く、特に公共施設や観光施設におけるWi-Fi環境の普及や利用手続きの簡便性の面での課題が指摘されています。

政府は、防災の観点から、2020年までに約3万箇所のWi-Fi環境の整備を目指しており、また、空港や駅・鉄道、宿泊施設など人が多く出入りする場所には、民間での設置を働きかけています。

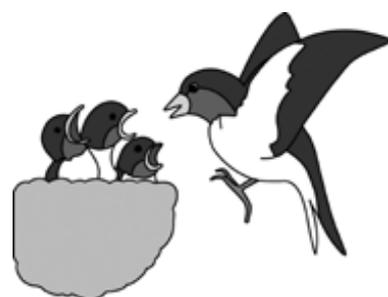
Wi-Fi環境の整備促進は、インバウンドのさらなる増加だけでなく防災拠点となる公共施設等の災害時における通信手段の確保にも大きく貢献することから、以下の項目について強く要望します。

### 記

1. 鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に対するWi-Fi整備支援事業を一層拡充すること。
2. 日本遺産・国立公園等の観光拠点や観光案内所におけるWi-Fi環境の整備を一層促進し、観光地の機能向上や利便性向上を図ること。
3. 防災の観点から、避難所・避難場所の学校、市民センター、公民館等の防災拠点や、博物館・自然公園等の避難場所として想定される公的拠点へのWi-Fi環境の整備を行う地方公共団体に対して、財政的支援措置を導入すること。

## 編集後記

今年も我が家に燕が帰ってきました。この時期になると遠地に長期出張していた子どもが帰省してくるかのようになっています。これから八月の飛び立つ日まで、一番子、二番子の子育ての間毎日にごやかな日々を迎えられそうです。



あるとは思いますが、議会議員として行政に提言し続けていきたいと思っています。  
(嶋田委員長記)

### 広報発行常任委員会

委員長	嶋田善行
副委員長	濱真理子
委員	小村尚己
〃	伴吉晴
〃	井上卓也
〃	奥村容子

事務局職員が替わりました  
今年4月の人事異動により、黒崎局長に替わり、真弓局長が就任しました。

これから、真弓局長、大塚局長補佐、草別書記で広報発行のお手伝いをさせていただきます。  
ご意見・ご質問があれば、議会事務局にご連絡ください。